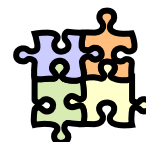


HIV(エイズウイルス)検査を受けよう



HIV と AIDS(エイズ)の関係は?

HIV と AIDS はよく一緒に耳にされると思います。HIV(Human Immunodeficiency Virus)はヒト免疫不全ウイルスのことで、通称エイズウイルスといわれます。HIV というウイルスによって引き起こされる病気が AIDS です。正式には「後天性免疫不全症候群」(Acquired Immunodeficiency Syndrome:AIDS)といえます。この HIV は、治療をしなければ増殖を続け、免疫機能の中心的な役割を担っている白血球の一種のリンパ球を次々に破壊していきます。その結果、免疫不全状態に陥り、様々な感染症や悪性腫瘍などを引き起こします。

HIV の感染状況はどうなってるの?

滋賀県では 2007 年度 HIV の新規感染者は 8 名でした。2008 年 3 月 31 日現在、全国の HIV 感染者は 14,187 人で、年々増加傾向にあります。

感染はどこで起こるの?

HIV 自体の感染力は非常に弱く、普段の生活では感染することはありません。しかし、次のような場合には感染することがあります。

血液による感染

HIV を含んだ血液が、傷口に直接触れた場合や、海外で輸血を受ける場合は、十分に注意する必要があります。

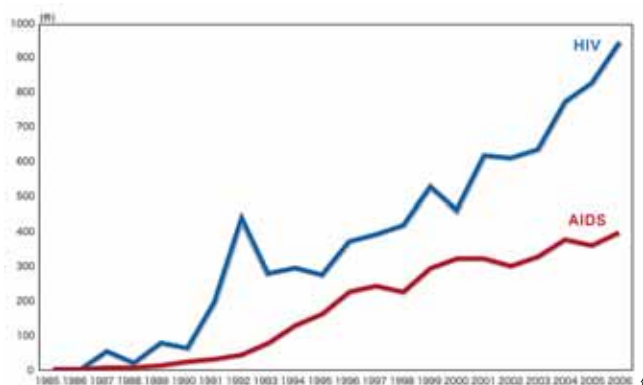
性交渉による感染

HIV を含んだ性分泌液(精液、膣分泌液)が、体の粘膜(口腔粘膜も含む)に直接触れ、血液中に HIV が侵入することで感染します。従って感染を予防するにはオーラルセックスの段階からコンドームの適切な使用が必要です。

母子感染

母子感染は、産道通過時や母乳を介して生じます。この感染は、帝王切開や人工母乳(粉ミルク)を使うことである程度防止できるといわれています。また周産期に感染する場合があるため、母親に対しては抗 HIV 薬を投与することで感染を防げる場合があります。

全国のHIV感染者およびAIDS患者の年次推移



出典「厚生労働省エイズ動向委員会
平成 18 年エイズ発生動向年報」

HIV 検査ってどこで受けられるの?

検査は滋賀県の各保健所で、匿名・無料で居住地以外の保健所でも受けることができます。詳しくは最寄りの保健所にお問い合わせ下さい。また有料で医療機関でも検査を受けることができます。

大津：平成 21 年 4 月 1 日より大津市に移管されます。

	所在地	電話番号
大津	520-0801 大津市におの浜 4-4-5	077-522-6755
草津	525-8525 草津市草津 3-14-75	077-562-3526
甲賀	528-8511 甲賀市水口町水口 6200	0748-63-6147
東近江	527-0023 東近江市八日市緑町 8-22	0748-22-1309
彦根	522-0039 彦根市和田町 41	0749-21-0284
長浜	526-0033 長浜市平方町 1152-2	0749-65-6663
高島	520-1621 高島市今津町今津 4 4 8-4 5	0740-22-2526



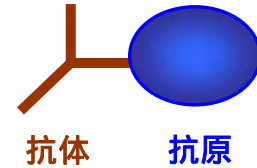
知っていますか？ 検査で反応しない期間があります

感染の機会があつてから HIV の感染初期においては抗体が十分に作られず、血液検査では検出できない期間があり、およそ 1 ヶ月間は血液検査を行っても陰性と判断されてしまいます。2 ヶ月以上経過した後であれば、採血による血液検査で特異な抗体（抗 HIV 抗体）を検出することができ、感染の有無を確認することができます。そのため、滋賀県では感染を受けたと思われる日から 3 ヶ月経った時点での検査を勧めています。

検査の仕組みってどうなってるの？

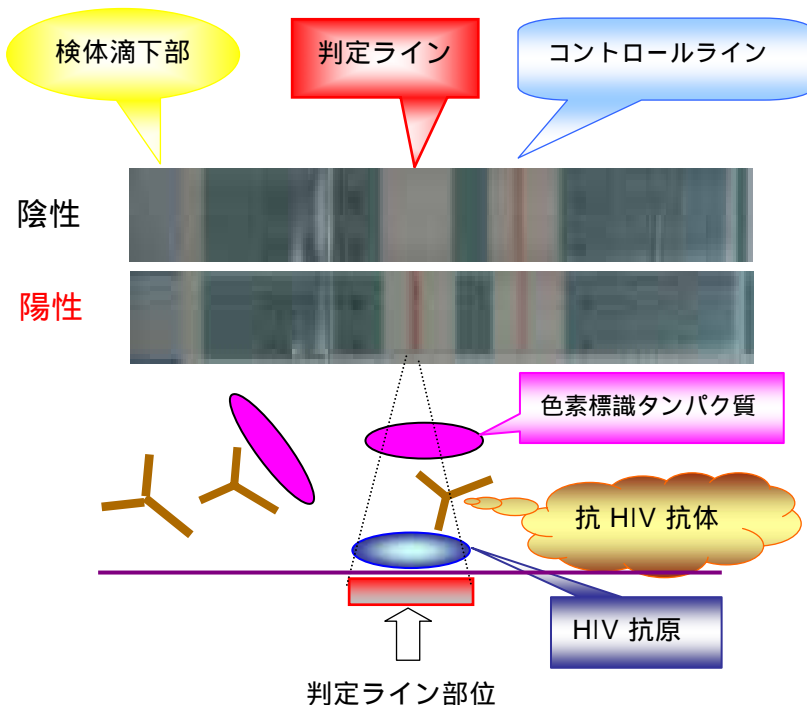
検査は、抗原と抗体が反応することを利用して行っています。人間の体は、細菌やウイルスなどの異物（抗原）が入ってくると、排除しようとして体内で抗体というタンパク質をつくります。HIV に感染すると、同じ反応が起こり、HIV に対応する抗体（抗 HIV 抗体）がつくられます。この抗体が体内で見つかり、HIV に感染していることになり、この抗体が血液中にあるかどうかを調べます。

抗原と抗体が反応するイメージ



検査法について

検査法には、イムノクロマト法、PA 法(粒子凝集法)、ELISA 法(酵素免疫抗体法)、WB 法(ウエスタンブロット法)などがあり、衛生科学センターでは保健所と連携して、検査を行っています。下の図は迅速検査に用いられることが多いイムノクロマト法です。この方法は、『抗 HIV 抗体』があればまず『色素標識タンパク質』と反応を起こすようにしておきます。そしてウイルスを構成するタンパク質『HIV 抗原』をあらかじめ所定の位置（判定部）のライン上に載せておきます。検体をシートの左端に滴下すると、右方へ『浸透移動』し、『抗 HIV 抗体』があれば、まずこの『色素標識タンパク質』との反応が起こり、次いで『抗 HIV 抗体』と『HIV 抗原』が反応し、判定ライン上に図のような目視できるラインが出現します。



イムノクロマト法がよく用いられるのは、短時間で結果が出るためですが、約 100 人に 1 人の割合で、抗 HIV 抗体がないにもかかわらず陽性となる可能性があります。コントロールラインとは、反応が正常に起こっているかどうかを確認するための指標です。

当センターの役割

HIV の治療法は日々進歩しており、長期生存が可能になりつつあります。治療効果は早期に発見・治療することでより一層大きくなります。この関係を見据え、今後とも衛生科学センターでは HIV 検査を適正に行い、HIV 感染者の早期発見に貢献していきたいと考えております。